

## 四天王寺悲田院特養・在宅

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い悲田院特養及び在宅のご利用者や職員に対して、健康な日常生活を維持できるように感染症予防対策に取り組みました。

特に医療機関によるPCR検査に時間を要することから大阪PCR検査センターによる検査キットの導入で即日、結果が判明し感染拡大を防ぐことができました。特養においては、利用者のコロナ感染を防ぐ防ぐことができました。

### ～事業活動報告～

#### (1) ユニットケアの推進

職員主体の支援になっていないかどうかユニット目標をユニット会議で確認し、ICT機器の導入についてリスクマネジメント委員会が中心となり、転倒リスクの高い利用者へのサンプル機器を使用し利用可能かどうか検討しました。また、インドネシアとフィリピンからの介護福祉士候補生の受け入れに伴い介護技術だけではなく、メッセージボード等を用いコミュニケーションが適切に取れるように工夫しました。生活面でSNSのトラブルが生じたため、今後サポートできるよう取り組んでいきます。

#### (2) 地域包括ケアの推進

各在宅事業の強みをパンフレットに記載し、医療機関や居宅介護支援事業所に配布しました。特に羽曳野市で唯一の認知症対応型通所介護事業については、相談員や療法士とも連携し次年度に向けてLIFEの加算取得や、地域で困っている利用者が受け入れられるよう体制整備を行いました。

#### (3) 設備更新計画と経営管理

大規模修繕では特に厨房棟が経年劣化による修理が増加していることから厨房棟改修工事、他の場所への移設、現状維持の3パターンで修繕計画を検討中です。また、本部繰入については、コロナによる影響が大きく稼働の向上につながらず繰入金確保できませんでした。

### ～改善活動～

#### (1) ハラスメント対策と離職防止

ハラスメント対策として動画視聴による研修を実施しましたが、全職員への周知は不十分でした。離職防止の観点から小まめな面談を行い、風通しの良い職場環境に努めました。

#### (2) 業務改善

特養ではショートの利用者満足と外国人介護福祉士候補生の受け入れ、在宅では訪問介護による看取りの必要性和通所介護での業務改善に取り組みました。